

## 清風・公明など

# なぜ核兵器禁止条約への参加に反対するのか

昨年1月22日に世界50カ国の批准で発効した核兵器禁止条約の参加国は、批准国が66、署名国が86（2022年6月29日現在）に達しています。

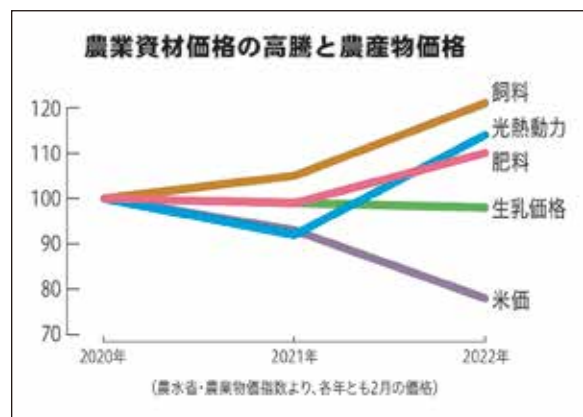
日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、条約に参加せず、ことし6月に開催された第1回締約国会議へのオブザーバー参加も拒否しました。

柏市の6月議会では、市民団体から提出された「日本政府の核兵器禁止条約への参加を求める請願」に対して、自民党系、公明、維新の会などの議員が反対し不採択となりました。維新所属の議員は世界の国々から批判されている日本政府の立場と「核抑止論」を擁護し、請願の不採択を求める討論を行いました。その主張は、「非核三原則の堅持」「核兵器廃絶と軍備縮小」を訴える柏市平和都市宣言（1985年3月20日制定）にも背くものです。

日本共産党は賛成討論で、核兵器廃絶と日本政府の核兵器禁止条約への参加を強く求めました。

## 資材高騰で農家支援 予算化を検討と答弁

市は6月議会の補正予算で、市内事業者の売り上げ回復を図るためとして、キャッシュレス決済ポイント還元で12億円計上しましたが、農業者支援はありませんでした。いま米価が大きく下落する一方で肥料・飼料・燃料などの農業資材は高騰しており、農業者支援は緊急の課題です。



議会では農家に対して物価高騰に対応する支援を求めました。太田市長は、農家や農業団体の声を聞き、支援できるように予算化を検討すると答えました。調査の結果、農業資材は1.5倍～2倍になっており、9月議会で補正予算を提案できるように準備しています。

## 高齢者の運賃割引 (シルバーパス) を早く

市民の切実な願い「コミュニティーバス」の実現へ一歩動き始めました。来年1月から運行予定の「柏駅・市役所・保健所」を結ぶバスは、多くの市民に利用されるように安価な料金設定が必要です。さらに、市内全域へのコミュニティーバスの拡大を実現させましょう。

シルバーパス（高齢者の運賃割引制度）は太田市長の公約です。市では実現に向けて、先進自治体を視察し、対象者などの検討を進めるとしています。シルバーパスは、高齢者の外出機会を広げ、健康の増進、生きがいに繋がり、高齢者も街も元気にします。1日も早い実現へ、皆さんの声を結集させましょう。



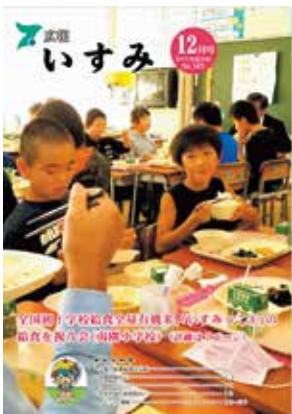
# 暮らし 応援の 政治へ

## 子ども医療費の助成 1日も早く18歳まで

日本共産党の公約であり、太田市長も市長選で柱として掲げた、子ども医療費助成の高校3年生までの年齢の拡大は、現在県と市の協議が進められています。県内では54市町村の内、すでに22自治体が入院・通院とも高校卒業まで対象を広げています。早期実現を強く求めています。

千葉県は来年8月から、病院窓口での自己負担に上限を設ける方針ですが、通院は月5日を超えた場合が対象で、通院した子どものわずか1%しか軽減されません。県も市も、子育て支援を最優先にするよう、声を上げましょう。

## 柏の学校給食に 地元産の有機米を



食の安全、温暖化対策のためにも、有機農業の推進が求められています。県内のいすみ市では有機農業を進め、学校給食のお米はすべて有機米を使用しています（写真）。柏でも有機農業に積極的に取り組み、学校給食で有機米を使用することを求めました。市は、有機農業は温暖化対策にも有効であるとして、いすみ市などの先進事例の研究や情報収集を行っていくと答弁しました。

## 新型コロナウイルス第7波・共産党18次の申し入れ

新型コロナの新規感染者が7月に入って急増しています。柏市内では、高齢者施設や医療機関、学校、保育園などでクラスター（集団感染）も発生しています。

日本共産党柏市議団は7月21日、市独自の無料PCR検査の再開、保健所・医療機関の体制強化、商業や農業への支援、国の交付金を活用した上下水道料金、学校給食費の減免などを求めるコロナ対策の18回目の申し入れを太田市長に行いました。

柏市は無料PCR検査を再開するとともに療養者用のホテルを確保しました。新規感染者と自宅療養者の急激な増加を踏まえ、急ぎよ8月～9月分7億5000万円の補正予算を組みました。

日本共産党は、市としての最大限の取り組みを引き続き求めています。



## 「道の駅しょうなん」の新築工事で多数ひび割れ

「道の駅しょうなん」の再整備が行われ来場者でにぎわっています。用地費を含めて、再整備には20億円もの費用がかかっていますが、農産物直売所がある「テント」と呼ばれる新設棟のフロアのいたるところにひび割れ（クラック）が発生しています。

建築に詳しい市民からは「コンクリートの広いフロアに目地がまったく入っていない。割れるのは当然だ」「市は工事検査をなぜ通したのか」という批判の声が寄せられています。

6月議会での共産党の質問で、設計通りの工事が行われていないことが明らかになりました。市は「現場での協議で変更したが、結果としてひび割れが発生してしまった」「真摯に受け止めている。しっかりと品質確保に努めなければならない」と答弁しました。